

瀬戸内発見伝 卷の九

自然と共生する地域社会を目指して

里川の魚「アユモドキ」

生息情報をお寄せください



国の天然記念物・アユモドキ

保護していかなければ
ならない国の天然記念物

アユモドキは琵琶湖・淀川水系、岡山県では吉井川・旭川・高梁川水系にのみに住んでいる珍しい魚です。アユモドキという名前は、体形や肌の色などがアユに似ていることからで、アユモドキなどと呼ばれます。アユモドキをたくわえた愛嬌のある顔つきは、ドジョウの仲間と納得できますが、アユに似た体形から游泳力のある魚であることが分かります。

剣、扇手に舞う 詩舞II



コート中に響き渡る掛け声。邑久バレーボール少年団



明るく元気な邑久バレーボールスポーツ少年団の団員たち

真剣にボールに向かう 邑久バレーボールスポーツ少年団



サーブも1本1本丁寧に練習

20人の団員は、A・Bチームに分かれて練習。右に左に前に後ろに動き、ボールに向かう顔は真剣です。レシーブに力を入れ練習。ボーラーをつなぐために大きな声を出します。

「楽しくできるのが1番ですが、気持ちを入れて後悔のない練習をすることが大事」と北村高広コーチ。

指導にも熱が入ります。「技術的にはまだ大団員たちは目の前に迫った大会に向け、懸命にボールを追いつなぎ、アタックを決め、練習に励んでいました。」

が激減し、昭和52(1977)年に国の天然記念物に指定されました。「オサンショウウオ」・「トキ」・「イリオモテヤマネコ」も国の天然記念物です。このアユモドキも

■情報連絡先

市教育委員会社会教育課
〒701-4392
瀬戸内市牛窓町牛窓
4911
☎ 0869-34-5604

ります。体に暗褐色の横縞種が中国の西部・中部に生息していることから、日本が大陸の一部であったことを物語る証として学術的に価値の高い生き物です。長年にわたり人が自然とかかわる過程で育まれた2次的な自然に住むアユモドキは、近年、河川改修などの生息環境の変化やブラックバスなどの外来種の食害で、生息数が減少しています。調査にあたり、市内でのアユモドキの生息確認の情報を集め、今後の保全対策に生かしたいと思います。「何年ごろどこで・何びきくらい」見た、「アユモドキ」と言いうが別の名前で呼んでいた、などの情報提供をお願いします。

このため、教育委員会では本年度、市内のアユモドキの保全活用について審議指導する保全活動検討委員会を設置し、アユモドキの生息環境や生息状況の調査を計画しています。調査にあたり、市内でのアユモドキの生息確認の情報を集め、今後の保全対策に生かしたいと思います。

同様に保護していかなければならぬのです。

生息状況調査を計画 教育委員会へ情報提供を

ホップ

ステップ

ジャンプ

このコーナーは、生涯学習や生涯スポーツに生き生きと取り組む皆さんを紹介します。皆さんも仲間入りしませんか?



剣を手に凛として舞う藤井さん(右)、大河原さん(中央)

練習会場では、袴に白足袋姿の女子中学生2人が、宗家から教えを受けたという赤田像順先生の指導を受け、けいこに励んでいます。ここでのけいこは、剣を持つて踊る剣舞と扇を持つて踊る詩舞の2種類。漢詩に節を付けた曲がかかると、2人は真剣な表情で一点を見つめ剣や扇を手に舞います。まず曲の振りを覚え、技術的な細かい部分を修正。

ここでのけいこは、剣を持つて踊る剣舞と扇を持つて踊る詩舞の2種類。漢詩に節を付けた曲がかかると、足の踏み込みや着地など難しいところは、できるまで何度も繰り返します。「剣舞は戦いが多いので、男になりきって踊ります」と、藤井陽子さん(14歳・長船町八日市)。「女性の優しさを表現する詩舞が好き」と、大河原真紀さん(14歳・長船町服部)。

コンクールやリサイタルに向け、けいこに励む2人。藤井さんは中国大会で優勝し、9月中旬に東京で開かれる全国大会に出場します。

「舞の味、最終的には心技体の心を伝えたい」と、熱心な赤田先生。「詩舞のことを知つてほしい」と生徒の2人。皆さん、見学にお越しください。

★練習日 毎週水曜日
午後6時30分～8時30分
★会費 月1,500円
★代表 藤井嘉代さん

★練習場所 邑久中学校体育館、邑久B&G体育馆
★会費 半年ごとに5,000円
★代表 見川彰彦さん